

(様式2(1))

事業所名 グループホーム アネシスもとやま

作成日：平成27年02月10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	法人理念に沿って実践する為、努力しているが、まだ浸透はしていない。	職員(チームとして)の理念の浸透を図る。	ユニットごとに『どのような施設なら家族を預けたいか』について意見を出し合い、その意見を基に法人理念と事業所の役割を考えたうえで、施設の理念をつくる。	6ヶ月
2	6	災害時にどのように、職員が動けばよいか全員に浸透していない。	火災だけではなく、津波への対策も含め全員が動きを把握できるようになる。	月に一回のリスクマネジメント委員会にて、災害時(避難経路・シュミレーション等)について、話し合いを行い全員に意識付を行う。	6ヶ月
3	49	お散歩等は行けているが、普段行けないような外出が出来ていない。	個別ケアや集団にて、ご本人様が行きたい所にご家族様の協力を得て、お連れし楽しんで頂く。	まずは、外食の計画を立てる。 ご家族様へもご案内し、実行する。	4ヶ月
4	6	身体拘束・高齢者虐待について、職員のなれあいが重なると意識が薄くなる。	常に職員間で注意し合える風通しのよい寛容を作る。	研修だけではなく、定期的に職員達に浸透するように記述式報告書やDVD鑑賞等を取り入れていき、意識付を行っていく。(月に1度を目標にする)	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。